令和八年度

国語採点基準

大問	解答	配点	備考
1	(1) 子どもが楽しめる夏祭り (2) (例)日頃から校内放送でアナウンスをしているから。 (3) 1 (4) (例)新しい企画を考える際に、夏祭りのテーマを意識した工夫をしてくれていること。	(1) 4 (2) 4 (3) 4 (4) 4	1 (1) かな書きのものも、誤字、あて字があるものも認める。 (2) 同じ内容であればよい。 (4) 上記の例以外でも、条件を満たし、適切な内容であればよい。
2	(1) ア けんい　イ そうぐう ウ えいたん　エ さかのぼ オ さず カ 温泉　キ 翌朝 ク 住宅　ケ 過 コ 導 (2) 3	(1) 5（各1） (2) 5（各1）	12
3	(1) ア うけきらわず イ 1 ウ A 御室戸斎部の秋田 B なよ竹のかぐや姫（完答） (2) ア 信言不美、美言不信 イ 2	(1) 2 (2) 2 (2) 4 (1) 4 (2) 2	14 3 (1) ウ 両方できて正答とする。
4	(1) 4 (2) A 人間特有 B 知識や技術を効率的に習得する (3) (例)他者の信頼性を評価している（十三字） (4) I (例)大人からの情報を優先して学習するが、同年代の子どものほうが詳しそうな内容（三十六字） (5) 4 II 指標	(1) 4 (2) 2 (3) 2 (3) 4 (4) 4 (5) 2	22 4 (3) I 上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。
5	(1) 2 (2) 3 (3) A プロの世界 B もっと身近なところでミュージカルが好きな人たち (4) (例)競いながら走り、誰よりも速く在ること。（十九字） (5) I (例)スタイリストとしてステージに立つ人たちを支える人間になりたい（三十字） II 勇気づける (6) 4	(1) 4 (2) 4 (3) 2 (3) 2 (4) 4 (5) 4 (6) 4	26 5 (4) (例)上記の例以外でも、条件を満たし、同じ内容であればよい。
6	（省略）	10	100 6 ※ 次の二つの条件を満たしているものを正答とする。 ① 第一段落に、【資料】をもとに自分の意見を書いている。 ② 第二段落に、①の理由を書いている。 ※ 次の点にあてはまる場合は点数を減ずる。 ・字数が百五十字未満、または二百字を超えた場合は1点を減ずる。 ・二段落構成でない場合は1点を減ずる。 ・表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味、用法、主述の照応等）が三か所あるものは1点、四か所以上あるものは2点を減ずる。 ・表記に関する誤り（文字、かなづかい、句読点、符号の使い方等）についても、右の基準を適用する。